

第3次総合計画策定における市民参画の 実施状況について

企画部企画調整課

伊勢崎市では、令和7年度から始まる第3次総合計画の策定にあたり、市民と行政が協働したまちづくり計画とするため、市民の皆さんの参画をいただきながら計画づくりを進めており、その実施状況を次のとおりお知らせします。

1 市民アンケート調査

実施目的：市民意識の動向と現在の市民の多様なニーズを統計的に把握することで、計画策定の基礎資料とするとともに、今後の市政運営に生かすため。

調査期間：6月9日（金）～6月30日（金）

調査対象：市内に在住する満18歳以上の人

回答者数：545人（サンプル数2,000人、回答率27.3%）

結果：

○住みよさについて：76.9%（前回比2.8%↑）

※「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の合計

○将来どんな市になって欲しいか

・高齢者や障害者などを大切にする福祉の充実したまち(44.6%)

・防災・防火・救急・防犯・交通安全などが整備され、安心して暮らせるまち(40.7%)

2 高校生・大学生アンケート調査

実施目的：将来の伊勢崎市を担う市内の高校、大学に通う若者の意見を把握することで、計画策定及び今後の市政運営に活用する基礎資料とするため。

調査期間：5月25日（木）～6月16日（金）

調査対象：伊勢崎市内の高等学校に在籍する高校2年生

伊勢崎市内の大学に在籍する大学生

回答者数：1,465人（うち、高校生1,046人、大学生419人）

結果：

○伊勢崎市が若い世代（20代～30代）にとって魅力的なまちになるために、重要だと思うこと

・買い物や交通など便利で快適に暮らせる環境づくり(36.2%)

・多くの集客が見込まれる祭りなど誇れるイベントの開催(30.4%)

3 多文化共生キーパーソンヒアリング

実施目的：外国人住民の意見を聴取することで、計画策定及び今後の市政運営に活用する基礎資料とするため。

実施日：7月13日（木）

対象者：多文化共生キーパーソン6名（事前アンケートの回答のみの方を含む）

主な意見：

- ・以前と比べると外国人住民が様々な情報を得やすくなっている
- ・言葉や文化の相互理解が必要 など

4 まちづくり市民ワークショップ

実施目的：計画の策定段階から市民が参画し、まちづくりについて主体的に検討していただくため。

実施日：第1回 9月10日（日）、第2回 9月24日（日）、
第3回 10月15日（日）

参加者数：第1回 23名、第2回 25名、第3回 25名

主な意見：

○10年後の理想の伊勢崎市

- ・医療や子育て環境の充実
- ・交通や施設の充実
- ・産業の多様化
- ・世代間交流、多文化共生 など

～今年度における今後の市民参画の予定～

市長懇話会

実施目的：市内の様々な分野において活躍されている団体から幅広い意見を聴き、地域課題等を意見交換することにより、市政への参加促進を図るとともに、総合計画の策定に活用するため。

テーマ：地域の課題及び理想像について、今後の方向性について

日時：第1回 11月 7日（火）13時00分～14時00分

第2回 11月 7日（火）16時30分～17時30分

第3回 11月17日（金）14時00分～15時00分

場所：伊勢崎市役所東館3階 災害対策室

参加団体：第1回 NPO法人 伊勢崎日本語ボランティア協会
子ども日本語教室・未来塾

第2回 伊勢崎市PTA連合会
一般財団法人 伊勢崎市スポーツ協会

第3回 伊勢崎市防災と福祉を考える会
伊勢崎市障害児者親の会ネットワーク